



Snowmonterey

巻頭言

連盟活動へのご支援を

石狩スキー連盟

会長 佐々木良則

暑さ厳しい季節となりましたが、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。現在、連盟では次シーズン（2018～2019）に向けての諸準備を進めているところです。

さて、昨シーズンを振り返ると、各部長や事務局長を中心として実に多くの事業や行事が行われ、たくさんの方の成果を上げることができました。これも、会員一人一人のご理解とご協力の賜物と思っております。ありがとうございました。

スキー技術や取り巻く環境は少しずつ変化しています。また、会員のニーズも多様です。スキーの普及・発展、指導力・技術力の向上を図るには如何なる活動をすべきか、役員会・理事会にて鋭意検討しております。会員数200余名を抱える当連盟が発展していくためには、更なる工夫や努力が必要です。今後とも石狩スキー連盟の活動に一層のご支援をお願い致します。

合格おめでとうございます

今シーズンの指導員・準指導員・認定指導員の合格者は次の方々です。おめでとうございます。

- ・指導員 今井祐介さん、佐藤友亮さん、守屋裕美さん
- ・準指導員 川口直人さん、畑 直輝さん、池田昌平さん、中島加奈さん、福岡義隆さん、中塚宗太さん、鈴木隆一さん
- ・認定指導員 松見浩平さん、服部直毅さん

資格を取得された方のここまでの苦労やこれからスキーへの思いを綴っていただきました。ありがとうございます。

指導員検定に合格して

佐藤友亮

指導員検定に合格できたのは、西村先生が検定の約1年前の2017年4月15日から理論検定の準備をして頂き、スキー教程を学び始め、実技講習内容も10月の段階から無駄が全く無く練習時間が限られ追込みができなくてもなんとかなるよう手順を示し、指導頂けたからです。今でも予定と講習内容が記載されたPDFを見ると完璧な計画を立てて頂けた事がわかります。この計画に沿って準備できれば9分9厘合格できます。準指導員合格1年後の2年前から休日もほとんど無くほぼ毎日朝早くから深夜残業が当たり前の大変激務な職業に就いてしまいほとんどスキーをする時間も無くなりつつあった為、指導員受験は25～30年後になってしまうと思っていました。更に車を購入する時間が無く移動手段を失う等の問題がありました。

今ならば今井さんに助けて頂ける為受験しました。25～30年後になると… 今井さんありがとうございます。実技講習の前に必ず講習内容に該当する理論を学び、理解してから実技練習に臨めるよう指導頂けたので苦勞すること無く、講習中も和田先生、西村先生が理論検定で出題された言葉をそのまま使いながら指導して頂けたので迷うことなく内容を理解しながら練習を進める事ができました。尾田先生から昨年度と今年度の違いを示して頂けたのも無駄な手間が省けて良かったと思います。このように今井さんと共に順調に準備できたのでここ数年の過去問題レベルであれば相当な自信を持って受験できました。残念ながら理論検定が恐ろしく難しかったので理想通りには行きませんでした。それでも合格できると確信し実技に進めました。完璧に暗記した歴史の問題が全く出題されなかったのが非常に悲しく久しぶりにがっかりしましたが、実技検定は理論で学んだ事を生かし準指導員時と同じように

池脇先生に指導頂き問題無く無事終える事ができました。石狩スキー連盟の指導員検定で指導頂ける先生方は本物の教員の方が多く、今更ながら「勉強方法」を学ぶ事ができました。自分が小学校・中学校・高校の時の先生を悪く言うつもりはありませんが、西村先生・和田先生のように「勉強方法」「学習予定」を指導できる先生に小学校・中学校・高校で出会えていれば、今までの人生ここまで苦しむ事は無かったと思います。今後とも石狩スキー連盟の準指導員・指導員検定で指導頂いた先生方への感謝を忘れず生きていきたいと思っています。今後は自分の会社でも指導して行く立場になっていくので今回の指導員検定で学んだ事を生かし社会に貢献できる人間になっていきます。指導員として最初目標は、服部さんと合格を喜び合う事です。最後にここに書くべき事では無いのかもしれませんが、石狩スキー連盟を築き上げ、私を含め非常に多くの者にスキーを継続させ、ここまで導いて頂いた棧敷先生・井山先生に深く感謝致します。

「準指導員検定を振り返って」

中島加奈

この度、5度目にして準指導員に合格することができました。5度目となりますと悲しいことに理論も再受験となり「このままでは、伝説の人になってしまうのだろうか？」不安とそれならばそれと少々開き直って迎えた今シーズンでした。スキー会員を7年、その後合格を目指した期間は技術的にも人間的にも信頼できる方々や世代を超えた様々な友人らに支えられ、悩み、迷いなどすぐにその場で解消出来るという大変恵まれた環境の中で過ごせました。確かに合格には至らず、年々焦りも「藻岩山を遥かに超えるほど？」にも「募りましたがそれ以上にシーズン毎に僅かでも達成感を感じる貴重な瞬間がありモチベーションをなんとか維持したまま益々スキーの魅力に引き込まれてゆきました。

そして今シーズンからは、ようやくパズルを埋めてゆくようにどの種目にも通じる一貫した要点を理解できたように感じます。5年という年月を費やすとは本当に情けない驚くほどのスローペースですが長くかかった分、ようやく一区切りつき周囲の方々も自分のことのように喜んで下さり本当に安心しました。一方で合格したとはいえ種目により到達度にも差があり特に不整地の小回りは大きな課題で、また雪質の斜面変化の対応にも全く技術不足の状態ですから達成感より焦燥感、不安が大きいのが今の心境です。今やっとスタート地点に立ちこれからがわたしにとってスタートなのでしょう。

私事ですがスキーに没頭している間に気がつけばシニア世代に突入し、子供たちは巣立ち、道東の町「スケート

は盛んなのですが・・・。」へ転居、老いた両親の介護など当然ですが様々な変化が生じています。今この時点で大好きなスキーが続けられているのは改めて恵まれた幸せなこと、つい忘れがちになってしまいましたが常に感謝の気持ちを持ち続けていたいと思います。

最後になりましたが長い間熱心に温かくご指導下さりました石狩連盟の先生の方々をはじめ受験を通じて出会うことの出来た皆様の応援のおかげと心より感謝しております。本当にありがとうございました。

準指導員検定に合格して

鈴木隆一

昨シーズン準指導員を目指したきっかけは、私の子供達と級別取得が一緒になり上の資格が欲しいと思い始めた時、同じく子供達が通う盤溪小学校の先生方に準指導員、指導員を取得している方がおり、その先生方にお話を聞いていると「石狩スキー連盟がいいよ」と勧めて頂いたので連盟に登録し受験いたしました。

受験中は多岐にわたる講師陣の皆様のお力添えがあり、当初から不安や心配事なく、また受験の新しい情報をいち早く教えていただけましたので、講師の方の思いに応えたいと必死に（途中からは夢中に）なり挑むことができました。

受験当日は検定バーンの変更等、色々なことがありましたが、ここでも講師の方に支えていただきましたが、私が何よりも嬉しかったのが受験2日目の昼食の前受験者からの差し入れが、月日が過ぎた未だに嬉しさと感謝の気持ちで一杯です。来シーズンは私達が引き継ぐ番ですので、来シーズン受講される方楽しみにしててください。準指導員の受験が終わると今度は、C級検定の受験。ここからは準指導員者として初めての受講となり、いままで共にしてきた仲間同士の絆が生まれていましたので、情報交換を共に行いながら合格することが出来ました。この文面から少しでも感じていただければ嬉しいのですが、講師の皆さん思いがとても「熱い」方ばかりです。受講にあたり不安があれば必ずお答えしていただけます。準指導員受講を希望される方は是非石狩スキー連盟へ。お待ちしております。



準指導員検定終了後 藻岩山にて受検者と指導者で